



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

3月号

令和 6年 3月 4日

校長 小堺 広司

学校教育目標

「自他の生命と人権を尊重し、
ねばり強くたくましい心豊かな
児童生徒を育成する」

～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～



充実のリオ日学 運動に、勉強に、文化に !

水泳で、初めて息継ぎを覚えた時。25m
を一度も足をつかずに泳ぎ切った時。

漢検で、毎朝対策の学習を重ね、本番の試
験でも、力を出し切った時。

期末テストで、休み時間に遊びたくてもが
まんして、ギリギリまで勉強した時。

感謝の集いで、日ごろからお世話になっ
ている職員の皆さんに、御礼の品を図工・美術
で作し、差し上げた時。

百人一首大会で、こだわりの一首を覚え、
上の句を聞いただけで上級生に負けずに札が
取れた時。

濃密な学校生活を送ることができるリオ日
学は、ますます充実しています。

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」高浜虚子
日本はいよいよ春、子どもたちの無限の未
来に期待がふくらみます。リオ日学も新しい
季節を迎えます。大きな花を咲かせることが
できるよう、子どもたちを支えてまいります。

<学校評価のご協力を

ありがとうございました>

11月30日付通知文書でお願いした学校
評価にご協力いただき大変ありがとうございました。
2月16日(金)開催のPTA代表委員会で詳細はお伝え
しましたが、今後、以下のことを重点に、さらなる教育の充
実に向けて努力してまいります。

<児童生徒について>

・気持ちよくあいさつのできる子どもを育
てる。

・子どもの声にしっかり耳を傾け、心に寄
り添う。

<安全について>

・避難訓練等の安全対策は、万全を期し、
計画的に実施している。保護者と学校が情
報共有と連携ができるように発信していく。

<開かれた学校づくりについて>

・現地校やインター校との子どもたち同
士の交流機会を作る。

<施設設備の充実について>

・老朽化の補修、ICT機器の更新など、す
ぐにできることはすぐに、計画的に実施す
ることは予算を立て、教育環境を整える。

<さよなら遠足に行ってきました>



3月1日(金)、さよなら遠足でペドラボ
ニータ登山とプラネタリウム見学に行っ
てきました。険しい山道で、何度も休憩し
ながら、ついに山頂にたどり着くと、大地
に寝転んだり、「ヤッホー！」のこだまを
楽しんだり、雄大な景色を言葉少なく眺
め続けたり、大自然に抱かれて、登山の
醍醐味を味わうことができました。

プラネタリウムでは、まずはお弁当を
みんなで食べ、そのあと、隕石・NASA
の映像・体験的ラボ・テレビゲームを
見て回り、最後にプラネタリウムで星
の世界を楽しみました。

思い出いっぱい、今の仲間と過ごす
最後の遠足。いつまでも覚えていた
いですね。

○よろこそ先輩 リオ日学の学びが力に！



2月22日(木)、4年前リオ日学中学部を卒業した竹原ひなたさんが、大学1年生となり、リオを再訪し、「今ある自分と日学の思い出」という主題で、当時の写真スライドを使いながらお話しくださいました。



「人前で緊張しなくなくなった」「高校受験対策は日学の勉強だけでいけた」「私学の待たされた生入試で、あると知らなかった英会話による面接試験が日学の授業のおかげで合格できた」

など日学の良さをたくさん話してくださいました。高校ではカナダ・バンクーバーに1年間留学して英語力を鍛え、大学ではせっかくブラジルで生活していたのだからポルトガル語学科で学び直しをしようと公募推薦で合格されました。同級生に、当時リオのアメリカンスクールに通っていた方がいて驚いたそうです。

リオ日学での3年間、ほぼ中学部在籍1人でしたが、休み時間ドッチボールや追いかけて遊び、真子さま来校時にエイサーを踊ったり、文化祭で「オズの魔法使い・ドロシー役」を演じたり、リオタイムでお菓子作りをしたり、楽しい思い出が一杯だったそうです。

私たちもリオ日学で学ぶことを誇りに、自信をもって生活していきましょう。

○水泳大好き！



1月16日から2月16日まで全8回、フルミネルセクルービーのプールを借りて水泳教室を実施しました。グレードごとの個別指導のおかげで、息継ぎができた、25mが泳げた、平泳ぎができた、背泳ぎにチャレンジできた、バタフライができるようになったなど、人生初のことや成果がいっぱい。4年生以上で授業の最後に毎回やった25mレースが楽しかった！

○感謝の集い ～いつもありがとうございます～



2月6日(火)、お世話になっている学校職員みなさんへ図工・美術で作った品物を添え感謝の気持ちを伝えました。酒向事務長さんが「皆さんから元気をもらいこちらこそ感謝したい」とあいさつされ、凛和さんは「今度は私たちがだれかに感謝されるよう行動を変えていく」と話し、素晴らしい時間となりました。

凛和さんは「今度は私たちがだれかに感謝されるよう行動を変えていく」と話し、素晴らしい時間となりました。

○元気でね！



3月4日(月)を最後に、井上 湊太郎さん(小2)

が帰国します。楽しかった日々をありがとう。日本でも明るく元気で活躍してください。

1・2年生教室にて仲間たちと

○アイデアいっぱい！フレンドタイム



1月26日(金)中学生、2月27日(火)1・2年生がフレンドタイムを企画しました。中学生は体育館に隠されたヒントを基に真犯人を推理するゲーム。1・2年生は宝物を持っているのは誰だ？とキックベースをやりました。毎回アイデア豊かなイベントに、つい夢中になってしまいます。



○百人一首大会 日本の伝統文化にふれる



2月29日(水)⑤⑥時間目、百人一首大会を実施しました。これまで国語や学活の時間を使って学活練習してきた成果が発揮され、小1～中2までが堂々と競い合い、小学生が中学生に勝つ！兄弟対決！など見せ場がいっぱい。日本の伝統文化を味わう貴重な時間となりました。こだわりの一首は何？また来年もがんばろう！

○「ボッチャ」ありがとうございます！



商工会主催のスポーツ大会(11月12日実施)に協力したお礼で「ボッチャ(障害者スポーツ)」の道具一式を寄贈していただきました。みんなで楽しませていただきます。

<カーニバルに参加して>

2月12日(月)、Unidos do Tijucaのサンバグループに所属してカーニバルに参加しました。熱いスポットライトを浴び、浴道の観客から賞賛を受け、会場が一体となってステップを踏み、電光掲示板に示された残り時間とにらめっこしながら、名残惜しさと息切れの中、ついに踊り切りました。これまで「リオのカーニバルで踊る」と、ただの一度も考えたことなく、人生とは思えないものです。この瞬間のために頑張るブラジル人、生きる楽しみ方を知っている！私もあやかって、また来年！